

主な活動の紹介

1 地域から学校への支援

(1) 町内小・中学校への食育指導

町内の栄養教諭と食生活改善推進員「ヘルスマイト」を中心に、地域の食材と人材を生かした食育に力を入れています。

地域の生産者やボランティアとのふれあいや調理を通して、子どもたちと地域住民が互いに元気に学び合っています。



中学校での食育指導の様子

(2) 「西の寺子屋」の開設

地域住民が主体的に運営する放課後子ども教室「西の寺子屋」を今年度開設しました。ここでも、子どもと公民館・地域が協働して生産した食材を活用した食育をはじめ、動植物・手工芸・郷土・運動スポーツ等の活動を行い、楽しく学んでいます。

活動内容は、学校ではなかなか学んだり、体験したりすることのできない特色あるものになっています。保護者も協力的で、参加者は増加傾向にあり、まさに地域が一体となったふれあいと学びの場になってきています。



寺子屋での食育指導の様子

2 教育支援員や地域ボランティアを対象とした研修会の開催

学校を支える地域住民の増加に伴い、町教委では「学校・家庭・地域のつながりの重要性」や「学校にかかわるボランティア活動の注意事項」「教育支援員やボランティアの資質向上」等をねらいとした、スキルアップ研修会を開催しました。

町内の各地域関係者が一堂に会して行う研修会は、今年度初めての試みで、多くの参加者から好評を得ることができ、充実したものとなりました。



スキルアップ研修会の様子



メダカの学習の様子



紙芝居：郷土学習の様子

成果と課題

今年度は地域住民が主体的に運営する「西の寺子屋」の立ち上げ支援に重点を置いた結果、地域ぐるみで子どもを育む気運が高まりました。これを中学校区全体での高まりにつなげていくことが今後の課題です。また、今年度で「田布施町地域協育ネット運営委員会」の委員の任期が満了します。「田布施町地域協育ネット」を深化させていくために、多様な人材が参画する委員構成の在り方、より良い協議の在り方等を検討する必要があると考えています。

今後の取組

学校・家庭・地域のつながりを更に深めるためには、中学校区全体で「めざす子ども像」等の共有や地域の多様な人材育成が不可欠です。平成26年度は、「田布施町地域協育ネット運営委員会」の体制強化、町教委主催の研修会の充実、「田布施町地域協育ネット」に参画する組織や団体の強化・拡充の支援、本町の実情に即した土曜日の教育支援活動の研究等に取り組めます。